

案件に関連する指摘・対応状況

問題解決済

国名：案件名
イラク：バスラ上水道整備事業
(1) 問題・指摘の概要
バスラ市で安全な水の供給が十分でない理由として、JICA 事業の遅延が一因であるという NGO からの指摘があった。
(2) 原因
事業遅延については、主に以下の三点があげられる。 <ul style="list-style-type: none">・ イラク国内の治安悪化や入札不調等によりコントラクター選定が遅れたこと。・ 事業サイトを通る送電線ルート変更工事に関する電力省との調整に時間を要し、工事着工が遅れたこと。・ 工事着工後も、イラク国内の治安悪化や、通関手続きや予定機材の調達等の遅れが発生したこと。
(3) これまでの対応及び現状等
首相府諮問機関、実施機関、大使館及び JICA が、一堂に会して事業進捗についてモニタリングを行う定期会合の場で、迅速な通関を始めとする各種問題事項について申し入れを行っている。 また、工期の見直し、合意、および工事の円滑な進捗に向け、大使館とも連携し、実施機関及びコントラクターに対して継続的に働きかけを実施。 これらの対応の結果、2022 年 11 月に工事は完了しており、浄水道施設からの給水が開始されている。
(4) 今後の対応・教訓等
運営維持管理が適切に行われるよう実施機関等、関係当事者間の調整促進の継続に努める。